

島根学習センター概要



令和8年4月

 **放送大学** 島根学習センター

目 次

放送大学及び島根学習センターの沿革	・ ・ ・ ・	1
放送大学設立の趣旨・目的	・ ・ ・ ・	2
島根学習センターの主な事業・活動		
・面接授業	・ ・ ・ ・	3
・公開講演会	・ ・ ・ ・	4
・修士論文発表会・公開講演会	・ ・ ・ ・	5
・入学説明会・履修相談会	・ ・ ・ ・	5
・客員教員によるゼミ	・ ・ ・ ・	5
・学習相談	・ ・ ・ ・	5
・学生研修旅行	・ ・ ・ ・	6
・サークル活動	・ ・ ・ ・	6
島根学習センター令和8年度第1学期の学生現況		
・学生数の推移	・ ・ ・ ・	7
・履修科目の状況	・ ・ ・ ・	8
・教養学部の状況	・ ・ ・ ・	9～10
・大学院の状況	・ ・ ・ ・	10
・卒業生、修了生の推移	・ ・ ・ ・	11
・市町村別在籍者数	・ ・ ・ ・	12～13

※表紙写真：「放送大学島根学習センターが入居するスティックビル」
「2025年度第2学期学位記授与式（2026.3.29）」
「2025年度学生研修旅行（岡山県高梁市）（2025.9.28）」

放送大学及び島根学習センターの沿革

昭和	56 (1981) 年	6 月	放送大学学園法公布・施行	
		7 月	放送大学学園設立	
	58 (1983) 年	4 月	放送大学設置	
	59 (1984) 年	10 月	放送局免許(東京局) 放送局免許(前橋局)	
60 (1985) 年	4 月	放送による授業開始		
		学習センター(群馬、埼玉、千葉、東京第一、東京第二、神奈川)学生受入開始		
平成	元 (1989) 年	4 月	第1回卒業式	
	8 (1996) 年	4 月	島根地域学習センター準備室設置(施設面積367㎡)	
		6 月	島根地域学習センター事務所開き	
		7 月	第81回放送大学公開講演会	
		9 月	島根地域学習センター開所式	
		10 月	島根地域学習センター学生受入開始	
	9 (1997) 年	10 月	委託放送業務認定(CSデジタル放送)	
	10 (1998) 年	1 月	CSデジタル放送による全国放送開始	
		4 月	「島根地域学習センター」から「島根学習センター」に改組	
	11 (1999) 年	10 月	全国の学習センターで全科履修生の受入開始	
			6 月	面接授業(集中型)を開設
			9 月	島根学習センター所属の全科履修生から初の卒業生
			10 月	面接授業(土日型)を開設
	12 (2000) 年	5 月	島根大学と単位互換協定締結	
			センター外再視聴施設(いわみーる3階放送大学浜田コーナー)設置	
	13 (2001) 年	3 月	島根医科大学と単位互換協定締結	
		4 月	放送大学大学院設置	
			施設拡充(3階108㎡ 合計475㎡)	
	14 (2002) 年	4 月	第122回放送大学公開講演会	
			大学院【文化科学研究科】学生受入開始	
	15 (2003) 年	3 月	第1回島根学習センター文化祭「私が楽しんでいること」展	
	16 (2004) 年	3 月	島根学習センター所属の修士全科生から初の修了生	
	17 (2005) 年	10 月	センター外再視聴施設(益田市中央公民館2階放送大学益田コーナー)設置	
	18 (2006) 年	9 月	センター外再視聴施設放送大学益田コーナーが益田市民学習センター内に移転	
			島根学習センター開設10周年記念講演会	
	19 (2007) 年	6 月	島根県立大学と単位互換協定締結	
	21 (2009) 年	2 月	島根大学との双方向単位互換協定書覚書締結	
	23 (2011) 年	10 月	BSデジタル放送開始	
			島根学習センター開設15周年記念事業	
	24 (2012) 年	3 月	CSデジタル放送終了	
10 月		古事記編纂1300年を記念して学術講演会開催		
25 (2013) 年	4 月	放送大学島根同窓会が設立		
	4 月	教養学部情報コース及び大学院情報学プログラムの設置		
		10 月	放送大学30周年記念講演会	
26 (2014) 年	1 月	出雲コンピュータ専門学校と連携協力に関する覚書締結		
	4 月	放送大学大学院博士後期課程設置		
27 (2015) 年	4 月	オンライン授業配信開始		
28 (2016) 年	4 月	カリキュラム改正		
	11 月	島根学習センター開設20周年記念事業		
30 (2018) 年	4 月	島根学習センター図書視聴室にWi-Fi環境整備		
令和	元 (2019) 年	5 月	センター外再視聴施設放送大学益田コーナーが益田市立図書館内に移転	
	2 (2020) 年	3 月	島根県立大学大学院と単位互換協定締結	
		3 (2021) 年	11 月	島根学習センター開設25周年記念事業
	4 (2022) 年	1 月	島根県立大学と双方向単位互換協定書覚書締結	
	5 (2023) 年	10 月	放送大学40周年記念式典・シンポジウム	

放送大学設立の趣旨・目的

放送大学は、テレビ・ラジオ放送による大学教育の普及発達を図ることを趣旨として設立された大学で、その具体的な目的は、次のとおりです。

- 1 生涯学習機関として、広く社会人等に大学教育の機会を提供する
- 2 高等学校卒業生等に対し、柔軟かつ流動的な大学進学を提供する
- 3 既存の大学との連携協力等による我が国の大学教育の改善へ貢献する

学生の種類

【教養学部】

学 生 種		在学期間
全 科 履 修 生	卒業(学位取得)を目指す学生等	4年～最長10年
選 科 履 修 生	希望する科目を履修する学生	1年
科 目 履 修 生		半年
集 中 科 目 履 修 生	「司書教諭資格取得に資する科目」を履修する学生	3か月 (7月～9月)
	「看護師資格取得に資する科目」を履修する学生	

※看護師資格取得に資する科目は、2020年度から一般科目に移行

【大学院文化科学研究科】

・修士課程

学 生 種		在学期間
修 士 全 科 生	修士(学術)の学位取得を目指す学生	2年～最長5年
修 士 選 科 生	学習・研究したい科目を履修する学生	1年
修 士 科 目 生		半年

・博士後期課程

学 生 種		在学期間
博 士 全 科 生	博士(学術)の学位取得を目指す学生	3年～最長8年

学習センター

現在、全国都道府県に57カ所の学習センターやサテライトスペースが設置され、放送大学の学生サービスの拠点となっています。これらの施設には、放送授業番組を視聴できる再視聴室、講義室、学生談話室などがあります。

- 学習センターの役割
1. 放送授業の再視聴
 2. 単位認定試験の実施
 3. 面接授業の開講
 4. 放送授業(DVD・CD)、図書の開覧
 5. 学習相談の実施
 6. サークル活動や交流

島根学習センター 主な事業・活動

◆面接授業 令和7年度第1学期(実績)

開催場所は島根学習センター(※印は別会場)

科目区分		科目名	担当講師	日 程
基盤	外国語	英語リスニング初級	マユー あき	5月31日(土)、6月1日(日)
導入	人間と文化	日本神話と出雲神話	山村 桃子	4月26日(土)、27日(日)
専門	生活と福祉	リスクコミュニケーション論	奈良 由美子	4月19日(土)、20日(日)
		健康スポーツ	中谷 昌弘	5月17日(土)、18日(日)(※1)
		福祉経済論	宮本 恭子	5月24日(土)、25日(日)
	社会と産業	地域密着型のまちづくり	坪倉 菜水	4月26日(土)、27日(日)
		現代日本の安全保障と同盟	佐藤 壮	6月14日(土)、15日(日)(※2)
	人間と文化	「嘘」についての哲学・倫理学	田中 一馬	4月19日(土)、20日(日)
		東南アジアの文化と社会	塩谷 もも	6月28日(土)、29日(日)
	情報	生活に活かすデザイン基礎	伏見 清香	5月17日(土)、18日(日)
	自然と環境	河川地形と人間活動:斐伊川の例	酒井 哲弥	5月10日(土)、11日(日)

◆面接授業 令和7年度第2学期(実績)

開催場所は島根学習センター(※印は別会場)

科目区分		科目名	担当講師	日 程
基盤	外国語	韓国の文化に触れてみよう!	林 河運	10月25日(土)、26日(日)
導入	社会と産業	はじめて学ぶ社会学の世界	猿渡 壮	12月13日(土)、14日(日)
専門	生活と福祉	実習で学ぶ食品学の最新動向	鶴永 陽子	10月18日(土)、19日(日)(※3)
		視覚で繙く障害の特性理解と支援	内山 仁志	11月15日(土)、16日(日)
	心理と教育	心理カウンセリング基礎演習	中島 正雄	11月1日(土)、2日(日)
		事実から読む作曲家の音楽思考	河添 達也	10月25日(土)、26日(日)
		心理学実験2	村瀬 俊樹	11/29(土)、11/30(日)
	社会と産業	くらしのなかの行政法	永松 正則	12月20日(土)、12月21日(日)
		ジェンダー論	中村 圭	12月13日(土)、14日(日)(※2)
	人間と文化	江戸時代の松江	小林 准士	11月 29日(土)、30日(日)
		天変地異の文化史	杉 岳志	1月10日(土)、11日(日)
		朝鮮半島の考古学(先史・古代)	平郡 達哉	11月15日(土)、16日(日)
自然と環境	初歩からの機械学習	小俣 光司	11月8日(土)、9日(日)	

(※1) 島根県立大学で実施

(※2) いわみーるで実施

(※3) いきいきプラザ島根で実施

◆公開講演会(令和7年度1学期)

県内各地で、県民向けに1時間半程度の公開講演会を行っています。

●「島根の建築:古代と現代建築とのつながり」

講師 千代 章一郎 氏 (放送大学島根学習センター客員教授、島根大学教授)

5月31日(土) 14:00~15:30

出雲市役所くにびき大ホール 27名参加



●「岩石と鉱物の世界『とっておき(隠岐)のヒスイの話』」

講師 高須 晃 氏 (島根大学名誉教授)

6月28日(土) 14:00~15:30

隠岐の島町図書館 研修室 24名参加



●「村堂の民俗—集落にある仏堂と私たちの暮らし」

講師 中野 洋平 氏 (放送大学島根学習センター客員准教授、島根県立大学准教授)

8月10日(日) 10:30~12:00

島根学習センター 第1講義室 8名参加



●「南極の生物と生育環境」

講師 大谷 修司 氏 (放送大学島根学習センター客員教授、島根大学名誉教授)

8月30日(土) 14:00~15:30

出雲市役所くにびき大ホール 41名参加



●「子どもたちのことばの世界」

講師 村瀬 俊樹 氏 (放送大学島根学習センター客員教授、島根大学名誉教授)

9月7日(日) 14:00~15:30

島根学習センター 第1講義室 11名参加



●「フランスと日本の交流:言葉と文化の受容」

講師 安齋 有紀 氏 (放送大学島根学習センター客員准教授、島根大学准教授)

10月4日(土) 14:00~15:30

益田市立図書館 12名参加

10月5日(日) 10:30~12:00

島根県西部社会教育研修センター 7名参加



●「夏目漱石の世界 —「三四郎」を読む—」

講師 武田 信明 氏

(放送大学島根学習センター客員教授、島根大学名誉教授)

11月1日(土) 14:00~15:30

出雲市立斐川図書館 50名参加



●「茶室の冒険:安来とパリ」

講師 千代 章一郎 氏

(放送大学島根学習センター客員教授、島根大学教授)

12月6日(土) 14:00~15:30 和光博物館 53名参加



●「『通過儀礼』の現在」

講師 出口 顕 氏

(放送大学島根学習センター所長、島根大学名誉教授)

1月17日(土) 14:00~15:30

島根学習センター第1講義室 26名参加



◆修士論文発表会・公開講演会

12月6日(土)放送大学島根学習センター第1講義室にて、公開講演会、修士論文発表会を開催しました。

●第1部 修士論文発表会 13:30~14:50 13名参加

・「職業音楽療法士のコンピテンシー
～コンピテンシー・モデルの開発と評価による検討～」

発表者: 金築朋子さん

・「英語授業におけるタスク性を高めた言語活動の実践
～高校英語教科書内の言語活動のタスク性分析とその応用～」

発表者: 遠藤香菜子さん

●第2部 公開講演会 15:00~16:30 参加者 15名

「老化期の転倒予防について～高齢者から幸齢者への第一歩～」

兵庫学習センター所長・神戸大学名誉教授 岡田 修一 氏



◆入学説明会・履修相談会

松江市、出雲市、浜田市、益田市で、入学希望者や学生を対象に、入学説明会・履修相談会を開催しました。

(松江地区)6/26(日)、8/7(日)、9/4(日)、12/20(土)、2/8(日)、3/1(日)10:00～、14:00～ 39名

(出雲地区)7/9(土)、8/28(日)、1/10(土)、2/21(土)13:00～ 6名

(浜田地区)7/31(日)10:00～、8/19(金)9:00～、1/31(土)14:00～、2/21(土)9:00～ } 5名

(益田地区)7/30(土)14:00～、8/18(木)14:00～2/1(日)10:00～、2/12(木)14:00～ 計50名

◆客員教員によるゼミ(学習会)

学習の方法や進め方など、修学上の疑問や質問について、毎月2回程度、客員教員による対面またはオンライン方式で学習相談を実施しています。

◆学習相談

放送大学学生を対象に、島根学習センター客員教員によるゼミ(学習会)を開催しました。客員の先生方が、専門分野のテーマに沿って開講する、少人数・双方向型の学習会です。講義を聴講するだけでなく、教材をもとに質疑応答を交えながら学習を深めていきます。

【第1学期】

ゼミの名称	講師名	
●言語と文化—言語を対照する—	安齋 有紀	客員准教授 5名
●自然から学ぶ:身近な植物を観察しよう	大谷 修司	客員教授 3名
●建築の歴史	千代章一郎	客員教授 3名
●「現代小説」を読む	武田 信明	客員教授 7名
●フィールドから学ぶ民俗学:文化的景観を読み解く	中野 洋平	客員准教授 3名
●実験・調査を通して知る心の仕組み	村瀬 俊樹	客員教授 6名
		計27名

【第2学期】

ゼミの名称	講師名	
●言語や文化を対照する	安齋 有紀	客員准教授 5名
●自然から学ぶ:身近な植物を観察しよう	大谷 修司	客員教授 5名
●建築の歴史	千代章一郎	客員教授 2名
●小説を読む楽しみ—尾崎翠の世界	武田 信明	客員教授 9名
●フィールドから学ぶ民俗学:日本のまつりを読み解く	中野 洋平	客員准教授 5名
●実験・調査を通して知る心の仕組み	村瀬 俊樹	客員教授 4名
		計30名

◆学生研修旅行

●岡山県高梁市成羽町 吹屋ふるさと村

島根学習センターが主催し、学友会(放送大学学生の会)が共催して実施するバスツアーです。

実施日:10月18日(土)

ジャパンレッドの発祥の地、弁柄(べんがら)と銅の町、備中吹屋を訪れ、「笹畝坑道」や「旧片山家住宅」「郷土館」を見学し、吹屋ふるさと村を散策しました。



◆サークル活動

サークル名	活 動	活 動 内 容
古文書を読む会	原則毎月1回 (第3水曜日) 13:30~15:30	古文書を自分で読めた時の喜びや達成感は計り知れません。古文書の解説だけでなく、時代背景も学び、皆が理解するまでゆっくりと学びます。
だんだんサロン・表現の会	毎月1回 (主に第3木曜日)	以前続けてきた活動をリニューアルし、10月からサークル活動として行っています。表現活動を通して豊かなコミュニケーション能力を身につけることを目的としています。
学友会	随 時	「勉強会」、「学生研修旅行(センターとの共催)」、「松江散策ツアー」など、学習に役立つことや学生間の交流を行っています。 また、学生に不要となった印刷教材の再利用(リユース)などの取り組みも行っています。

島根学習センター 令和8年度第1学期の学生現況

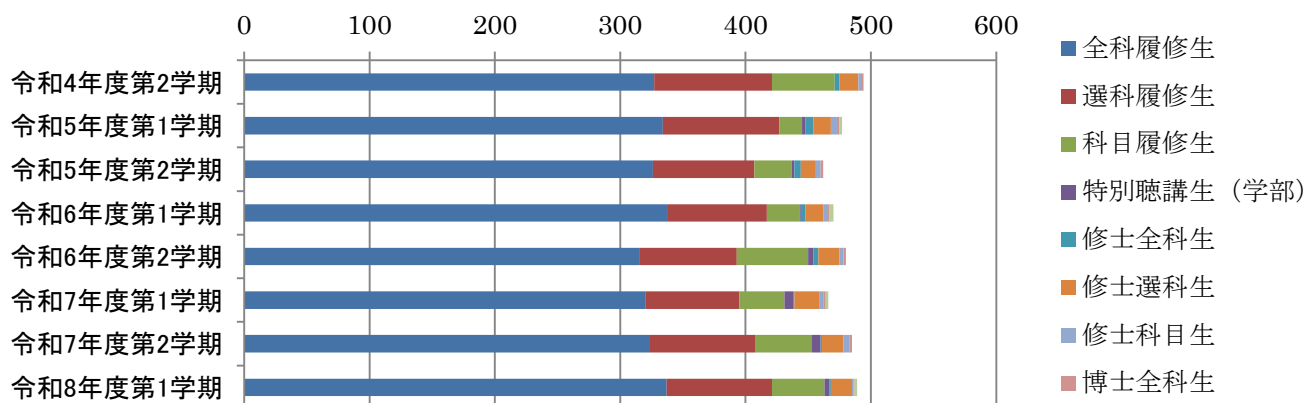
◆学生数の推移

- ・1学期の学生数は、教養学部では令和7年度と比べ29名増加し、大学院は3名減少した。合計で492人となり、令和7年度を上回った。
- ・新生は令和7年度と比べ、教養学部が同数、大学院は2名減少した。
- ・学生数合計では、15歳以上の人口に対する学生数の比率は全国平均を上回った。
(R2国勢調査の人口比 …… 島根 0.083%、全国 0.078%)

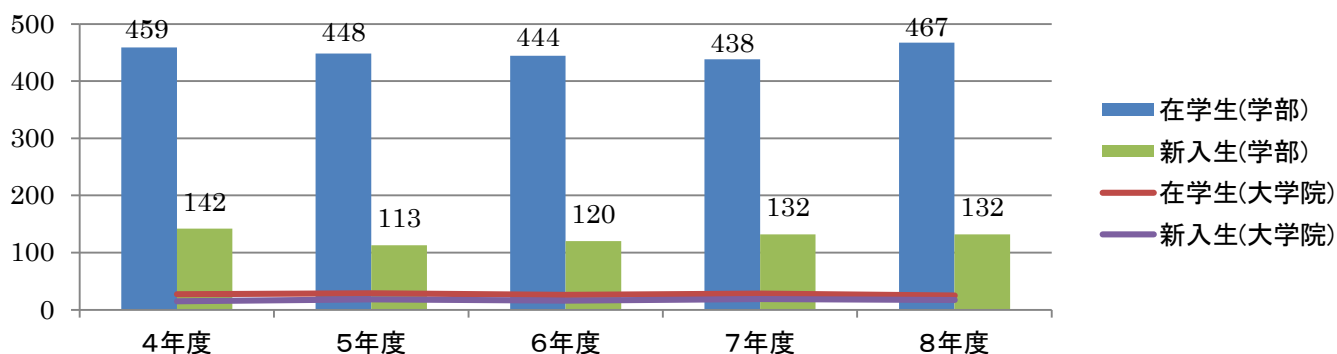
[単位：人]

		教養学部					大学院						合計	うち 新入生	
		全科履修生	選科履修生	科目履修生	特別聴講生	小計	修士全科生	修士選科生	修士科目生	博士全科生	特別聴講生	小計		学部	大学院
R4年度	1学期	335	91	33	0	459	4	16	4	2	1	27	486	142	15
	2学期	327	94	50	0	471	4	15	2	2		23	494	120	8
R5年度	1学期	334	93	18	3	448	6	14	5	2	2	29	477	113	18
	2学期	326	81	30	2	439	5	12	4	2		23	462	82	8
R6年度	1学期	338	79	26	1	444	4	14	3	2	3	26	470	120	16
	2学期	315	78	57	4	454	4	17	3	2		26	480	104	10
R7年度	1学期	320	75	36	7	438	1	20	3	2	2	28	466	132	19
	2学期	323	85	45	7	460	1	17	5	2		25	485	114	9
R8年度	1学期	337	84	42	4	467	4	17	1	1	2	25	492	132	17

在学生の学生種別別推移



各年度1学期の推移



◆履修科目の状況(令和8年度第1学期)

・教養学部全科履修生は、心理と教育コースの登録者が約38%と最も多く、社会と産業コース、生活と福祉コース、人間と文化コースが多くなっている。また、科目別にみても、この2つのコースの科目がより上位となっている。

・大学院では、修士全生自然環境科学プログラム他3つのプログラムに4人、博士全生人間科学プログラムに1人かかっている。

○全科履修生の登録状況

・教養学部全科履修生の登録コース

コース名	人数	割合
心理と教育コース	128	38.0%
生活と福祉コース	48	14.2%
人間と文化コース	46	13.6%
社会と産業コース	50	14.8%
自然と環境コース	29	8.6%
情報コース	36	10.7%
計	337	100.0%

・大学院修士全生の登録プログラム

プログラム名	人数	割合
自然環境科学プログラ	1	25.0%
臨床心理学プログラム	1	25.0%
人文学プログラム	1	25.0%
情報学プログラム	1	25.0%
計	4	-

・大学院博士全生の登録プログラム

プログラム名	人数	割合
人間科学プログラム	1	100.0%
計	1	-

○登録数上位の科目名(教養学部)

順位	科目名	登録数	所属コース等
1	より良い思考の技法('23)	26	生活と福祉、心理と教育、人間と文化、社会と産業、自然と環境
2	心理学概論('24)	23	生活と福祉、心理と教育、人間と文化
3	今日のメンタルヘルス('23)	18	心理と教育、自然と環境
3	疾病の回復を促進する薬('25)	18	生活と福祉、心理と教育、社会と産業、自然と環境
5	疾病の成立と回復促進('25)	17	生活と福祉、心理と教育、人間と文化、自然と環境
6	食と健康('24)	16	生活と福祉、心理と教育、社会と産業、自然と環境
7	グリーンサポートと死生学('24)	15	生活と福祉、心理と教育、人間と文化
9	感染症と生体防御('24)	14	生活と福祉、心理と教育、人間と文化、自然と環境
9	錯覚の科学('20)	14	生活と福祉、心理と教育、人間と文化、社会と環境、情報、自然と環境
9	思春期・青年期の心理臨床('19)	14	生活と福祉、心理と教育、社会と産業
9	人体の構造と機能('26)	14	人間と文化
9	問題解決の進め方('25)	14	生活と福祉、心理と教育、人間と文化、社会と産業、自然と環境
14	発達心理学概論('17)	13	心理と教育、人間と文化
15	運動と健康('22)	12	生活と福祉、心理と教育、人間と文化、情報
16	睡眠と健康('25)	12	生活と福祉、心理と教育、人間と文化、社会と産業、情報
17	シン・ビートルズ de 英文法('25)	11	生活と福祉、心理と教育、人間と文化、社会と産業
17	感情・人格心理学('21)	11	生活と福祉、心理と教育
17	社会福祉ー新しい地平を拓く('22)	11	生活と福祉、心理と教育、人間と文化
17	初歩からの数学('18)	11	生活と福祉、心理と教育、人間と文化、社会と産業、情報
17	特別支援教育基礎論('24)	11	心理と教育
17	日本語リテラシー('26)	11	生活と福祉
23	心理と教育へのいざない('24)	10	心理と教育、人間と文化、情報、自然と環境
23	認知症と生きる('21)	10	生活と福祉、心理と教育、情報
25	レジリエンスの科学('24)	9	生活と福祉、心理と教育、人間と文化、情報、自然と環境
25	英語で発信する日本文化('26)	9	生活と福祉、心理と教育、人間と文化、社会と産業
25	韓国語 I('25)	9	心理と教育、人間と文化、社会と産業、自然と環境

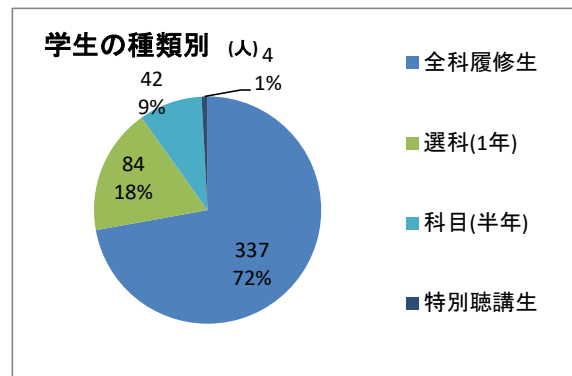
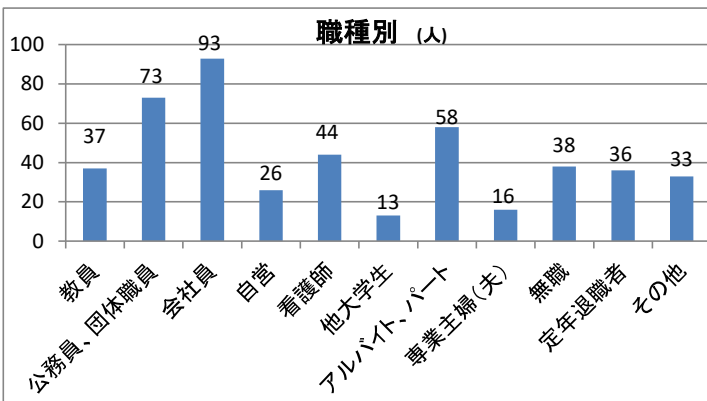
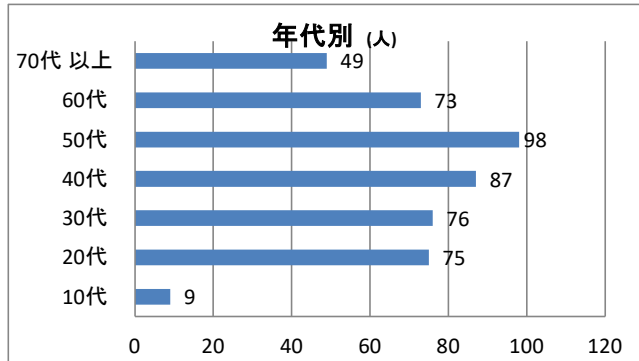
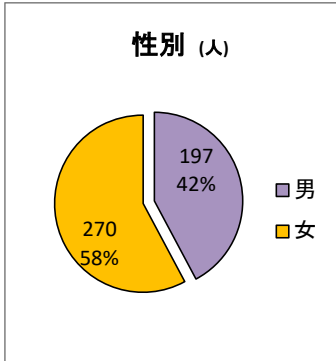
○登録数上位の科目名(大学院)

番号	科目名	登録数	所属プログラム
1	教育心理学特論('24)	3	所属なし
1	司法矯正・犯罪心理学特論('26)	3	〃
1	日本史史料を読む('21)	3	情報学
4	アカデミック・スキルズ('25)	2	人文学、情報学
4	グローバル時代の教育文化('25)	2	所属なし
4	フィジカルアセスメント特論('26)	2	〃
4	人文学の現在('25)	2	〃
4	西洋美術史学の歴史と方法('26)	2	情報学
4	統合医療安全・特定行為実践特論('19)	2	所属なし
4	統合臨床病態生理学・疾病概論('19)	2	〃

教養学部	467人
大学院	25人
合計	492人

◆教養学部 在学生の状況(令和8年度第1学期)

- ・性別では女性が約58%、年代別では10代から50代までの現役世代が約74%。
- ・職種別では、会社員が最も多く、自営を合わせた民間企業の方が全体の約26%。
- ・次いで多いのが公務員・団体職員、アルバイト・パート職員でキャリアアップを図ろうとする意向が見られる。
- ・また定年退職者も多く、生涯学習に向けた学ぶ意欲のある60代以上の方が約26%在籍。
- ・学生の種類別では、全科履修生が約72%、次いで選科履修生が約18%。



◆教養学部 新入生の状況(令和8年度第1学期)

- ・職種別では、公務員、団体職員が最も多く、次いで、教員、会社員が多い。
- ・学生の種類別では、科目履修生が32%、選科履修生が33%、全科履修生が32%となっている。
- ・年代別では、50代が最も多く、次いで40代が多い。各年代から入学している。

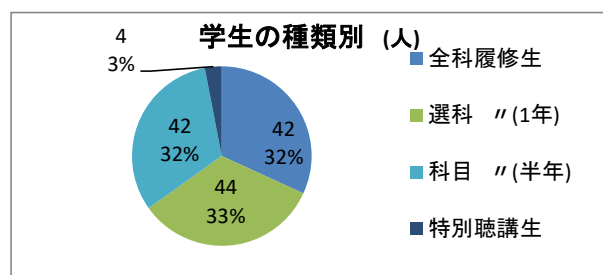
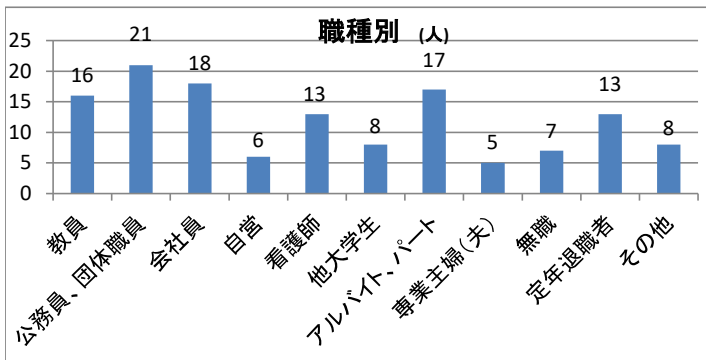
入学種別	人数
一般入学	102
再入学	5
編入学	14
学士入学	7
特別聴講生	4
計	132

性別	人数
男	48
女	84
計	132

職種別	人数
教員	16
公務員、団体職員	21
会社員	18
自営	6
看護師	13
他大学生	8
アルバイト、パート	17
専業主婦(夫)	5
無職	7
定年退職者	13
その他	8
計	132

学生の種類別	人数
全科履修生	42
選科“(1年)”	44
科目“(半年)”	42
特別聴講生	4
計	132

年代別	人数
10代	8
20代	20
30代	21
40代	25
50代	27
60代	14
70代以上	17
計	132



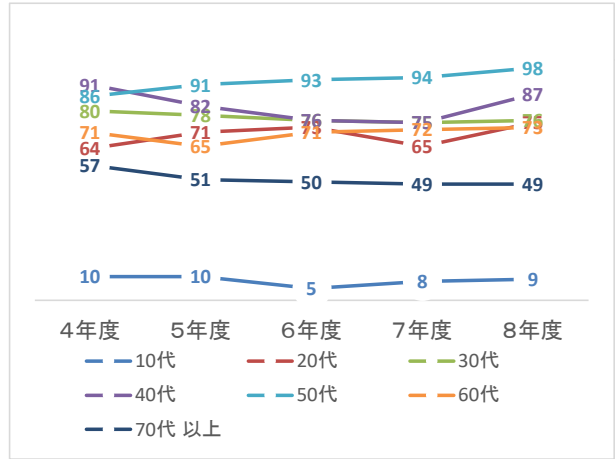
◆教養学部在学生の年代別、職業別推移(過去5年間の第1学期の数値)

●年代別

・前年比較では70代以上を除いてすべて増加。

[単位:人]

	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
10代	10	10	5	8	9
20代	64	71	73	65	75
30代	80	78	76	75	76
40代	91	82	76	75	87
50代	86	91	93	94	98
60代	71	65	71	72	73
70代以上	57	51	50	49	49
計	459	448	444	438	467

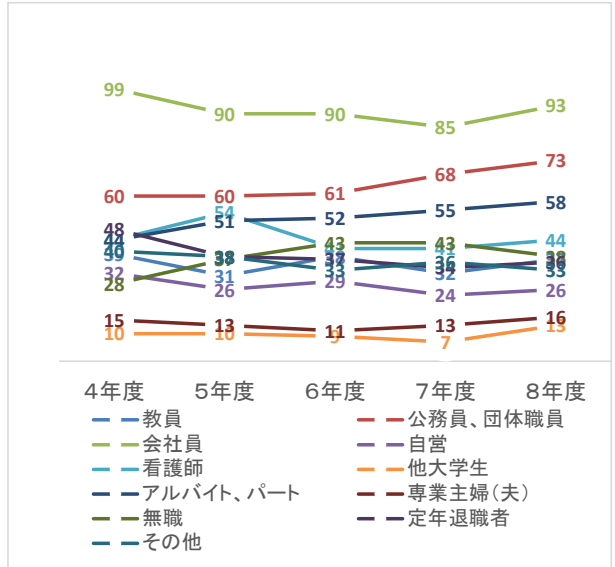


●職業別

・前年比較では、無職、その他を除いてすべて増加
・毎年、会社員が最も多く今回は93人。

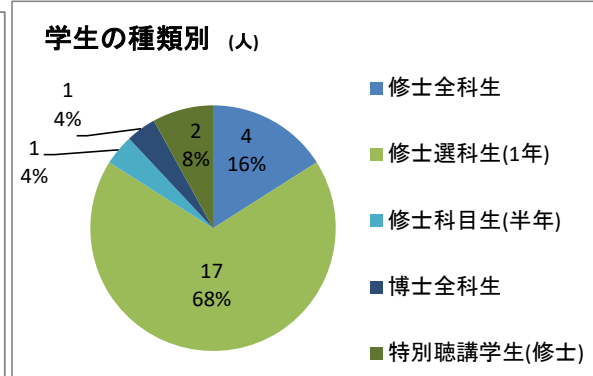
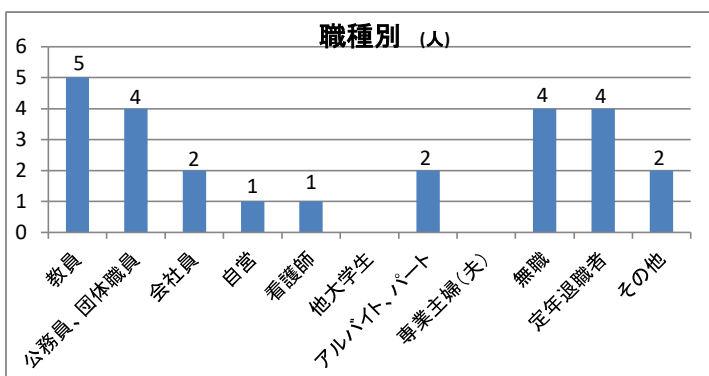
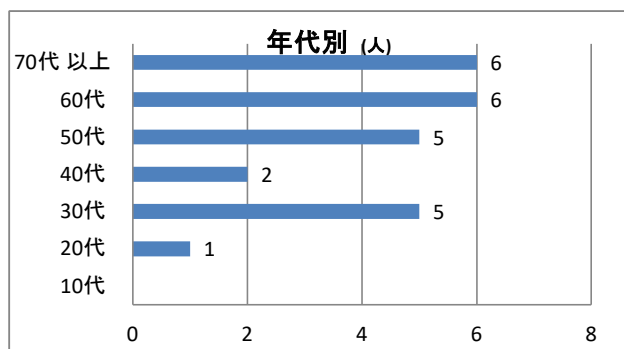
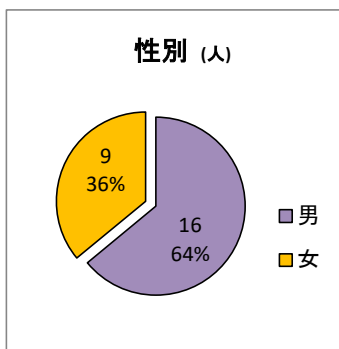
[単位:人]

	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
教員	39	31	38	32	37
公務員、団体職員	60	60	61	68	73
会社員	99	90	90	85	93
自営	32	26	29	24	26
看護師	44	54	41	41	44
他大学生	10	10	9	7	13
アルバイト、パート	44	51	52	55	58
専業主婦(夫)	15	13	11	13	16
無職	28	37	43	43	38
定年退職者	48	38	37	34	36
その他	40	38	33	36	33
計	459	448	444	438	467



◆大学院 在学生の状況(令和8年度第1学期)

- ・性別では男性が約64%、年代別では30代から50代までの現役世代の方が約48%。
- ・職業別では教員が最も多く、次いで公務員、団体職員、無職、定年退職者が多い。
- ・学生の種類別では修士選科生が68%、全科生は修士4名、博士1名。



◆教養学部卒業生の推移

[単位:人]

※平成 21 年度、平成 28 年度にカリキュラムの見直しが行われ、教養学部の専攻・コース、大学院のプログラムについても再構築された。

<旧 専 攻>

		生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探究	自然の理解	合 計
平成 11～27 年度		118	108	30	20	31	14	321
平成 28 年度	第 1 学期	0	0	0	0	0	0	0
	第 2 学期	1	0	0	0	0	0	1
平成 29 年度以降		0	0	0	0	0	0	0
合 計		119	108	30	20	31	14	322

<新 コ ー ス>

		生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	自然と環境	情 報	合 計
平成 21～令和 2 年度		105	132	44	46	17	16	360
令和 3 年度	第 1 学期	5	2	2	4	0	0	13
	第 2 学期	0	5	2	2	0	2	11
令和 4 年度	第 1 学期	4	4	3	1	3	2	17
	第 2 学期	5	8	1	4	1	0	19
令和 5 年度	第 1 学期	6	5	3	1	0	1	16
	第 2 学期	7	11	3	0	1	3	25
令和 6 年度	第 1 学期	4	9	2	3	1	0	19
	第 2 学期	3	7	3	3	3	1	20
令和 7 年度	第 1 学期	3	0	2	2	1	0	8
	第 2 学期	3	2	3	1	1	2	12
合 計		145	185	68	67	28	27	520

◆大学院修了生の推移

[単位:人]

<旧 プ ロ グ ラ ム>

	総合文化	政策経営	教育開発	臨床心理	合 計
平成 15～24 年度	10	4	1	1	16

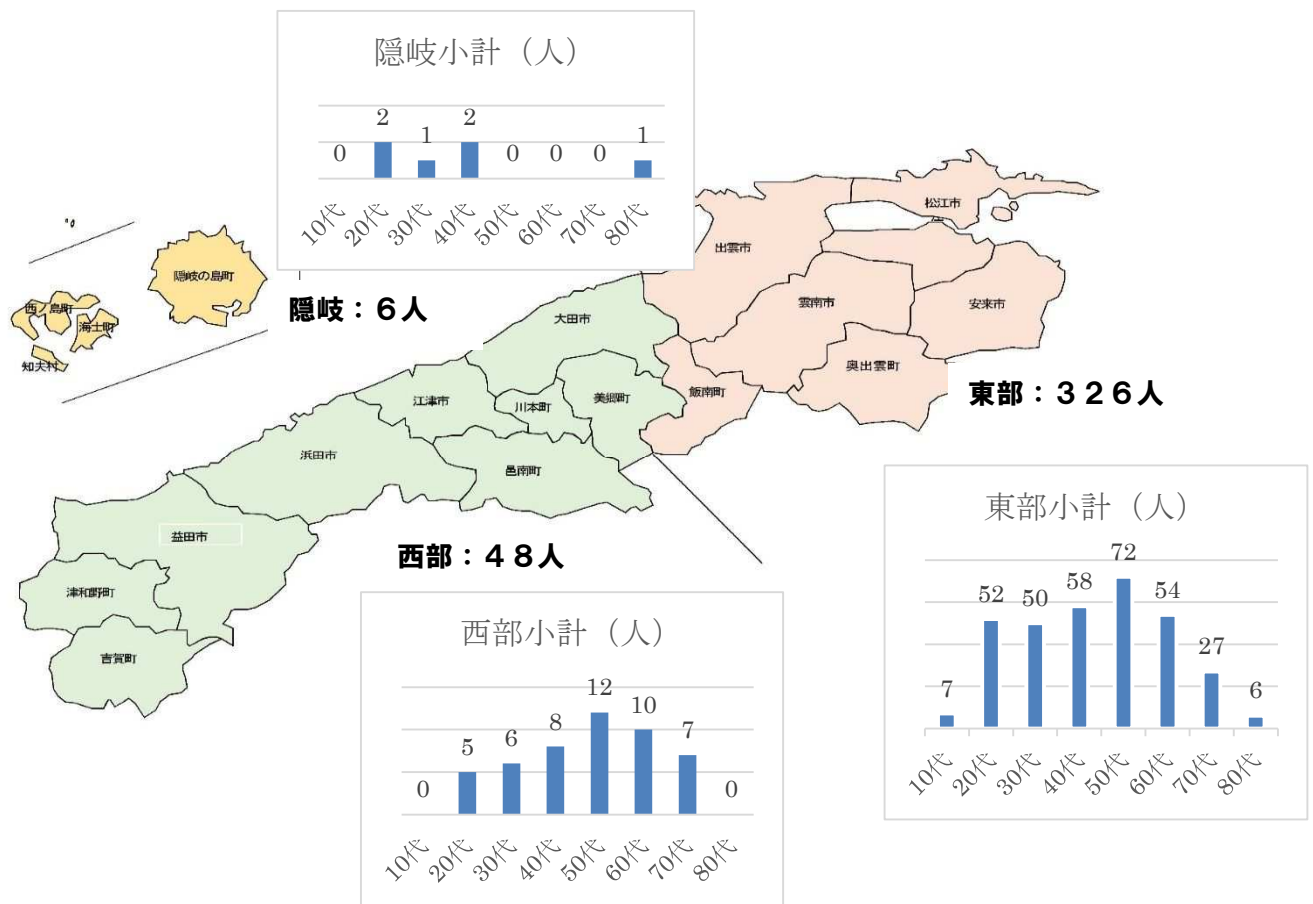
<新 プ ロ グ ラ ム>

	生活健康 科学	人間発達 科学	臨床 心理学	社会経営 科学	文化 情報学	人文	情報	自然環境 科学	合 計
平成 22～令和 2 年度	3	7	2	3	2	1	0	2	20
令和 3 年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和 4 年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和 5 年度	0	1	0	0	0	0	0	0	1
令和 6 年度	0	0	0	1	0	2	0	0	3
令和 7 年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	3	8	2	4	2	3	0	2	24

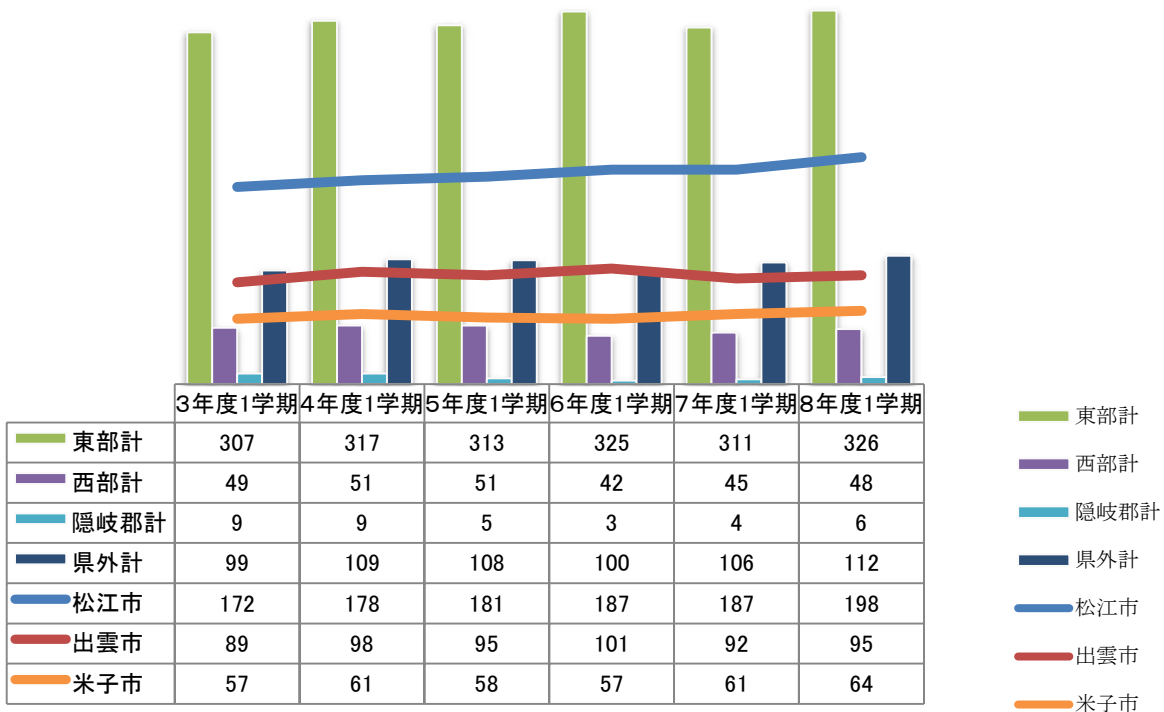
令和8年度第1学期 市町村別在籍者数

[単位:人]

市町村名	学 部				大 学 院					計	備考 (県内住所 学生数)
	全 科	選 科	科 目	特 聴	全 科	選 科	科 目	博 士	特 聴		
松江市	124	36	23	2	4	7	1	1		198	199
安来市	13	3	1			1				18	18
出雲市	67	15	7	1		5				95	96
雲南市	4	2	2							8	8
仁多郡奥出雲町	6									6	6
飯石郡飯南町	1									1	2
東部 計	215	56	33	3	4	13	1	1	0	326	329
大田市	9	4								13	13
江津市	5	1	1							7	7
浜田市	12	6								18	26
益田市	7	2								9	17
邑智郡美郷町											
邑智郡川本町											
邑智郡邑南町	1									1	4
鹿足郡津和野町											1
鹿足郡吉賀町											3
西部 計	34	13	1	0	0	0	0	0	0	48	71
隠岐郡隠岐の島町		1								1	1
隠岐郡西ノ島町	1	1								2	2
隠岐郡海士町			1							1	1
隠岐郡知夫村	1	1								2	2
隠岐 計	2	3	1	0	0	0	0	0	0	6	6
県内 小 計	251	72	35	3	4	13	1	1	0	380	406
米子市	46	7	7	1		3				64	
境港市	9	2								11	
倉吉市	1	1								2	
鳥取市	1									1	
西伯郡	10	1				1				12	
日野郡	2									2	
鳥取県 計	69	11	7	1	0	4	0	0	0	92	
岡山県	2									1	3
広島県	2									1	3
香川県	2										2
北海道	1										1
青森県		1									1
石川県	1										1
東京都	3										3
神奈川県	2										2
愛知県	2										2
大阪府	1										1
兵庫県	1										1
県外 小 計	86	12	7	1	0	4	0	0	2	112	
総計	337	84	42	4	4	17	1	1	2	492	406



地域別の在籍者数推移 (人)



- ・地域別の構成比は、県東部 66%、県外 23%、西部 10%、隠岐 1%
- ・前年と比較して、県東部地域をはじめ、全て増加した。

(R8/R7……松江 105%, 出雲 103%, 米子 105%)

【島根学習センターの現況】

○体制 所長
客員教員 6名
事務局 事務長以下6名

○施設（スティックビル内）
3階 第1講義室
4階 第2講義室、図書・視聴室、客員教員室、談話室、事務局



○西部コーナー（再視聴施設）

浜田コーナー 浜田市野原町 1826-1

いわみーる3F 県立西部社会教育研修センター内

益田コーナー 益田市常盤町 8-6 益田市立図書館内



浜田コーナー（いわみーる内）



益田コーナー（益田市立図書館内）

○主な事業・活動

- ・面接授業の開設
- ・所長、客員教員による学習相談
- ・公開講演会の開催
- ・ゼミの開催
- ・サークル活動、同窓会活動
- ・学位記授与式、入学者の集いの開催
- ・卒業論文発表会の開催
- ・在学生の履修相談、入学説明会



放送大学 島根学習センター

〒690-0061 島根県松江市白湯本町4-3
スティックビル4階
TEL 0852(28)5500
FAX 0852(28)1800

